

【A年】

顯現後第五主日  
けんげんごだい  
しゅじつ

主よ、あなたに呼び求める民を慈しみ、その祈りをお受け  
ください。どうか、行うべきことを悟る知恵と、それを忠実  
に成し遂げる恵みと力をお与えください。主イエス・キリ  
ストによつてお願ひいたします。アーメン

「ハンセン病問題啓発の日」の祈り

第五十五(定期) 総会決議第三十号

慈悲深い神よ、み子イエス・キリストは重い皮膚病(ことに  
ハンセン病)を患つた人びとを癒され、社会の中での生きること  
とを示してくださいました。しかし、ことにハンセン病への偏見  
と差別のため、完治しているにもかかわらず、今もなお、共に生  
きる社会が実現できないでいることに痛みを覚えます。どうか  
すべての人びとが、この病気の事実、また回復者の現実など、  
ハンセン病をめぐる問題を理解することができますように。多くの苦しみの中  
なう社会を建設することができます。多くの友となり歩まれたみ子、わたしたちの主イエス  
にある人びとの友となり歩まれたみ子、わたしたちの主イエス  
・キリストによつてお願ひいたします。アーメン

会衆は着席する。

旧約聖書

朗讀者 「旧約聖書はハバクク書第三章一節から」

1 預言者ハバククの祈り。

シグヨノトの調べに合わせて。

2 主よ、あなたの名声をわたしは聞きました。

主よ、わたしはあなたの御業に畏れを抱きます。

3 数年のうちに、それを生き返らせ

2 主よ、あなたのうちにも、それを示してください。

怒りのうちに、憐れみを忘れないでください。

3 神はテマンから

聖なる方はパランの山から来られる。「セラ

4 その威厳は天を覆い

威光は地に満ちる。

5 その輝きは日の光のようであり

威光の輝きは日中のみであります。

そのきらめきは御手から射し出でる。

6 御力はその中に隠されている。

7 病は御前に行き

8 热病は御足に従う。

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

## 第二七編 一七節

6 主は立つて、大地を測り  
見渡して、國々を驅り立てられる。  
7 どこしえの山々は碎かれ  
永遠の丘は沈む。  
しかし、主の道は永遠に変わらない。  
17 いちじくの木に花は咲かず  
ぶどうの枝は実をつけず  
オリーブは収穫の期待を裏切り  
田畠は食物を生ぜず  
羊はおりから断たれ  
牛舎には牛がいなくなる。  
18 しかし、わたしは主によつて喜び  
わが救いの神のゆえに踊る。  
19 わたしの主なる神は、わが力。  
わたしの足を雌鹿のようにし  
聖なる高台を歩ませられる。  
指揮者によつて、伴奏付き。

朗讀者 「旧約聖書を終わります」

1 兄弟たち、わたしもそちらに行つたとき、神の秘められた計画を宣べ伝えるのに優れた言葉や知恵を用いませんでした。2なぜなら、わたしはあなたがたの間で、イエス・キ

1 主はわたしの光、わたしの救い、わたしはだれをも恐れない  
= 主はわたしの命の砦、わたしはだれをはばかろう  
わたしの肉を食い尽くそうと悪を行ふ者が襲いかかっても  
=わたしの敵はつまずき倒れる  
たとえ軍勢がわたしに向かつて陣を敷いても = わたしの心は恐れない  
たとえ戦いを挑んできても、戦いが間近に迫つてきても  
= わたしは信頼してひるむことがない  
わたしは主に一つのことを願い求める = 生涯、主の家  
を住まいとし  
7 6 主の麗しさを仰ぎ見て = 主の宮で思うことを  
悩みの日に神はわたしを幕屋のうちに潜ませ = 天幕の隠く  
れ場にかくまい、岩の上に立たせてくださる

朗讀者 「使徒書はコリントの信徒への手紙 I 第二章 一節

から

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

## 詩編

リスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めっていたからです。3 そちらに行つたとき、わたしは衰弱していく、恐れに取りつかれ、ひどく不安でした。4 わたしの言葉もわたしの宣教も、知恵にあふれた言葉によらず、“靈”と力の証明によるものでした。5 それは、あなたがたが人の知恵によつてではなく、神の力によつて信じるようになるためでした。

朗讀者「使徒書を終わります。」  
「しとしよお」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

司祭 会衆 司祭 「主は皆さんとともに」  
「また、あなたとともに」  
聖マタイによる福音書  
た 主イエス・キリストの  
「主に栄光がありますよ」

司祭 会衆 司祭 会衆 「主は皆さんとともに」  
「また、あなたとともに」  
「聖マタイによる福音書第五章  
た主イエス・キリストの福音。」  
「主に栄光がありますように」

司祭 会衆 司祭 会衆 「主は皆さんとともに」  
「また、あなたとともに」  
「聖マタイによる福音書第五章  
た主イエス・キリストの福音。」  
「主に榮光がありますように」

しかし、わたしたちは、信仰に成熟した人たちの間で  
は知恵を語ります。それはこの世の知恵ではなく、また、こ  
の世の滅びゆく支配者たちの知恵でもありません。7 わた  
したちが語るのは、隠されていた、神秘としての神の知恵で  
あり、神がわたしたちに栄光を与えるために、世界の始まる前  
から定めておられたものです。8 この世の支配者たちはだ  
れ一人、この知恵を理解しませんでした。もし理解していた  
ら、えいこうじゅうじか栄光の主を十字架につければしなかつたでしょ  
う。9 し

か  
め  
し、  
み  
こ  
の  
こ  
と  
は、

「目が見もせず、耳が聞きもせず、

人の心に思い浮かびもしなかつたことを、

神は御自分を愛する者たちに準備された』

と書いてあるとおりです。  
10 わたしたち

によつてそのことをあきらかに示してくださいまし

は  
い  
つ  
さ  
い  
切  
の  
こ  
と  
を  
、  
神  
か  
み  
の  
深  
ふ  
か  
み  
さ  
え  
も  
究  
き  
わ  
め  
ま

る  
以外に、いつたいだれが、人のことを

じようこ、神の靈以外こそ神のこととを知る者はハません。

「あなたがたは地の塩しおである。だが、塩に塩氣しおけがなくない  
れば、その塩しおは何なにによつて塩味しおあじが付けられよう。もはや、何なん  
の役やくにも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられることもあ  
だけである。14 あなたがたは世の光ひかりである。山やまの上うえにある町まち  
は、隠かくれることができない。15 また、ともし火ひをともして升のる  
下したに置く者おもはない。燭台ろうだいの上うえに置く。そうすれば、家いえ  
の中なかのものすべてを照あらすのである。16 そのように、あなたが  
たがたの光ひかりを人々の前に輝ひかしなさい。人々が、あなたが  
たの立派おとなな行みいを見て、あなたがたの天そんの父ちちをあがめるよ  
うになるためである。」

「わたし <sup>き</sup>が来たのは律法 <sup>りっぽう</sup>や預言者 <sup>よげんしや</sup>を廃止 <sup>はいし</sup>するためだ、と思つてはならない。廃止 <sup>はいし</sup>するためではなく、完成 <sup>かんせい</sup>するためである。<sup>おも</sup>18 はつきり言い <sup>い</sup>つておく。すべてのことが実現 <sup>じげん</sup>し、天地 <sup>てんち</sup>が消えうせるまで、律法 <sup>りっぽう</sup>の文字 <sup>もじ</sup>から一点 <sup>いつてん</sup>一画 <sup>いつかく</sup>も消え去ることはない。<sup>19</sup> だから、これらの最も小さな撻 <sup>おきて</sup>を一つでも破ぶ <sup>やぶ</sup>り、そうするようにと人に教える者は、天の国で最も小さい者と呼ばれる。<sup>20</sup> しかし、それを守り、そうするように教えられる者は、天の国で大いなる者と呼ばれる。言つておくが、あなたがたの義が律法学者やフアリサイ派の人々の義にまさつていなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。」

司祭  
「主に感謝 <sup>かんしゃ</sup>します」

会衆  
「主に感謝 <sup>かんしゃ</sup>します」